

## 新年の決意

校長 城 美 博

令和3年もあと数日を残すばかりとなりました。この時期、去りゆく年を振り返り、来るべき年に向けての決意を新たにするというのが、私の習い性になっております。

ただ、日本は社会全体が4月に新年度を迎えるということもあって、この時期は、新年の始まりと年度の終わりという性格の違うものが同居しており、一方で年の始まりに当たっての決意をしながら、その一方で3か月先の年度の終わりに当たっての総括をしているわけです。

ところで、学校では、1月からの3か月を、あえて「新年度のゼロ学期」(本校は前後期制ですが)と呼ぶことがあります。年の始まりと年度の終わりの重なりが3か月間あることを逆手に取り、できれば次年度へ向けて良いスタートとなるように、そのような言い方をしているのだと思います。

3年生にとっては文字通り高校生活の締めくくりに当たり、自分の進路を確定し、4月からの新しい環境での生活につながる重要な時期です。私にも経験がありますが、年末年始の雰囲気を味わいつつ、浮かれず騒がず、自分の進む道に向かって黙々と励むしかありません。

1・2年生には、来るべき新年度へ力を蓄える時期と心得て、反省すべきは謙虚に反省し、前向きな気持ちで行動を起こさねばなりません。2年生はあと一年、1年生にはあと二年の時間が残されていますが、これだけの時間を真に有効に使うことができれば、かなりの成果を上げることが可能です。自分の力を過小評価せず、是非具体的な目標を抱いてほしいと思います。

以上のようなことを生徒の皆さんに求めるのであれば、私も、新年の始まりをあえて特別な区切りとは考えず、それでいて、好ましくないことだけを改めるきっかけとしようと考えます。年は改まりますが、私たちの生活は変わることなく流れていきます。そして時の流れが止まることのない以上、すべてをリセットできるわけではなく、しかし、少しずつでもより良く生きることができるようになりたいということです。

最後に、私の今の気持ちを表すに相応しい俳句を引いて、本稿を閉じたいと思います。本年は大変お世話になりました。どうぞ良いお年をお迎えください。

去年今年貫く棒のごときもの 高浜虚子

## 校内読書週間・県高校総合文化祭【図書部門】ライブラリーフェスティバル県大会

第75回全国読書週間の一環として、11月2日～9日校内読書週間を実施しました。期間中の昼休みに雑誌付録抽選会・古雑誌頒布会を行い、標語コンクール入賞作を掲示しました。優秀標語は以下の通りです。

・最優秀賞 「全集中 熱中夢中 読書中」

宇野 将司(3-2)

・優秀賞 「コロナ禍で 手軽に行ける 世界旅行」

青山 智也(1-1)

・優良賞 「本の世界 ふみこむ瞬間 主人公」

長島 未桜(1-3)

今年らしい作品  
が上位に!

令和3年度ライブラリーフェスティバル県大会は、第1回全国大会も兼ね、12月16～17日の2日間開催されました。本校からは図書委員の2年生2名が参加し、ビブリオバトルの観戦、記念講演、生徒交流会など、さまざまな視点から読書の魅力について学んだようです。分科会では、POP講習会と本の修理講座に参加し、活動を通して他校の生徒とも交流を深めました。(教務部 図書視聴覚担当)



## 高校生さわやか運動

11月15日(月)から19日(金)の5日間を「高校生さわやか運動」強調週間とし、朝の挨拶運動、校舎周辺の清掃活動、公共交通機関乗車マナーアップ運動を行いました。

朝の挨拶運動と校舎周辺の清掃活動は、生活委員と生徒会執行部を中心に行いました。東門から生徒玄関にわたってずらりと並び、通勤・通学してくる先生方、生徒に向かって「おはようございます!!」と元気な声をかけ、学校中に爽やかな挨拶が響き渡りました。

この5日間は特に佐世保西高校の朝が賑やかになりました。また、乗車マナーアップ運動については、廊下や階段の掲示板にポスターを掲示し、生徒会長を中心に乗車マナーの見つめなおしを呼びかけました。

しかし、乗車マナーについてはまだまだ改善しなければならない点がたくさんあります。引き続き呼びかけを行っていきます。

この「高校生さわやか運動」の期間に限らず、日頃から元気な挨拶や掃除の徹底、乗車マナー等、お互いが気持ちよく生活できる雰囲気が出てくると佐世保西高校がもっともっと明るく元気のある学校になることでしょう。



目指そう!「さわやか日本一!!」

## 母の会支援活動

いよいよ大学入学共通テスト50日前を迎えた11月25日(木)に、3学年母の会の皆様による激励の差し入れが行われました。前日から時間をかけて準備をしていただき、当日の昼休みに、受験に「勝つ」という思いが詰まったカツサンドとメロンパン、そして学業成就を祈願した太宰府天満宮の鉛筆セットを激励の言葉とともに、生徒全員に配られました。差し入れの一つ一つには、母の会の皆さんの心のこもった手書きのメッセージが添えられており、56回生の生徒たちも保護者の愛情を感じながら、受験へのラストスパートに向けて気持ちを入れ直したようでした。

残された時間を大切に最後まであきらめずに頑張っていきましょう。(3学年主任 戸塚 邦彦)



## 保健講話

11月11日、1・2年生を対象にストレスマネジメント講座が行われました。本校スクールカウンセラーの朝長明日香先生からストレスの対処法の講話があり、子どもたちは学習面や人間関係におけるストレスや不安と上手に付き合う方法を学びました。

### 生徒の感想(抜粋)

- ・ストレスは無くすのではなく、上手に付き合うことが大切だと分かった。
- ・ストレス反応を和らげるためのコーピングをうまく活用することが大切だと分かった。
- ・不安な気持ちが少なくなり楽になった。

12月16日には1年生を対象に「いのちについて考える」LHRが行われました。例年は講師を佐世保市保健所の保健師の方に依頼するのですが、今年も本校保健主事の山口麻利子が務めました。相田みつを氏の「いのちのバトン」の詩や映像などを紹介し、いろいろな角度からいのちについて考える1時間になりました。(保健相談部)

## 《12・1月の行事予定》

12月27日	(月)	冬季講座(全学年)
28日	(火)	冬季講座(3年) 小論文セミナー・模試(1・2年)
29日	(火)	プレテスト④(～30日 3年)
31日	(木)	校舎施錠(～1月2日)
1月 3日	(月)	プレテスト⑤(～4日 3年)
11日	(火)	授業再開日、冬季実力テスト(1・2年)
12日	(水)	冬季実力テスト(2年)
15日	(土)	大学入試共通テスト(3年)、対外記述(1・2年)
16日	(日)	大学入試共通テスト(3年)、対外記述(2年)
19日	(火)	特別編成授業開始(3年)



## 主な試合等の結果

<ハンドボール部>

○令和3年度長崎県高等学校新人体育大会ハンドボール競技 女子 第3位

<放送部>

○令和3年度長崎県高等学校総合文化祭第43回九州高校放送コンテスト長崎県大会  
アナウンス部門 優良賞 2年 野澤元 朗読部門 優良賞 2年 吉富ゆり子  
ラジオ部門 優良賞「夢、追いかけて」、「こちら恋愛相談所」  
テレビ番組 優良賞「僕らだけの青春」

<美術部>

○令和3年度第16回 長崎県美術展覧会  
デザインの部 入選 3年 池田爽太、富川美乃里

○令和3年度長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】  
優秀賞 1年 中里遥人 作品名「不器用」(第5回全九州高等学校総合文化祭出場決定)  
優良賞 2年 茅原舞、岸川菜乙、峯剛獅、杉山碧、蓮見理彩

○赤い羽根クオカードデザイン募集 佳作 2年 平山睦月

<その他>

○第76回国民体育大会(三重とこわか国体)出場資格証明書 1年 坂本真菜

○令和3年度佐世保市明るい選挙啓発書写作品  
最優秀特選 1年 波江野恭祐 特選 3年 浦川七海  
入選 1年 小松日菜、田崎遼成、舛谷呼晏

○令和3年度佐世保市明るい選挙啓発ポスター作品  
佐世保市選挙管理委員会委員長賞 2年 池田菜々  
入選 2年 井上太貴、松本麗、田村美結、宮沢冴月  
佳作 2年 榊満琉汰、大谷空詩、北村佳乃子

○令和3年度読書週間校内標語コンクール  
最優秀賞 「全集中 熱中夢中 読書中」 3年 宇野将司  
優秀賞 「コロナ禍で 手軽に行ける 世界旅行」 1年 青山智也  
優良賞 「本の世界 ふみこむ瞬間 主人公」 1年 長島未桜